



美しい郷へGO!!

美しい郷発 第13号

平成 22年8月23日発行

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議

広報部会

TEL 0238 (85) 6131

FAX 0238 (85) 5275

きれいな池にな～れと願いをこめて

EM泥だんごを投入



平成 21 年から取り組んできた鮎貝スポーツ公園“中丸ため池”の水質浄化事業が今年度もスタートしました。7月19日海の日、西中ソフトボール部・テニス部の生徒約30名と、川東地区野球ス少“リトルホークス”の児童・保護者の方々約40名が参加されて、約3,500個のEM泥だんごが池

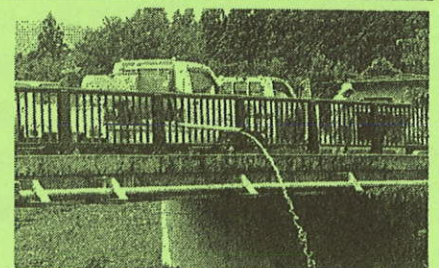
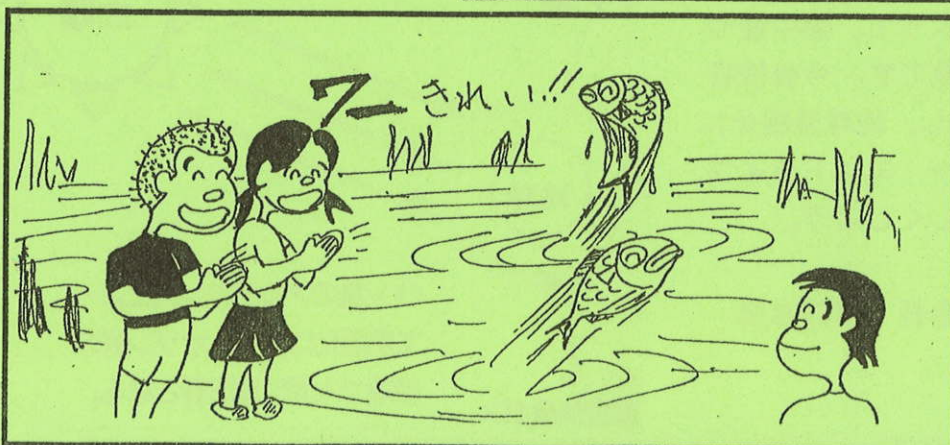
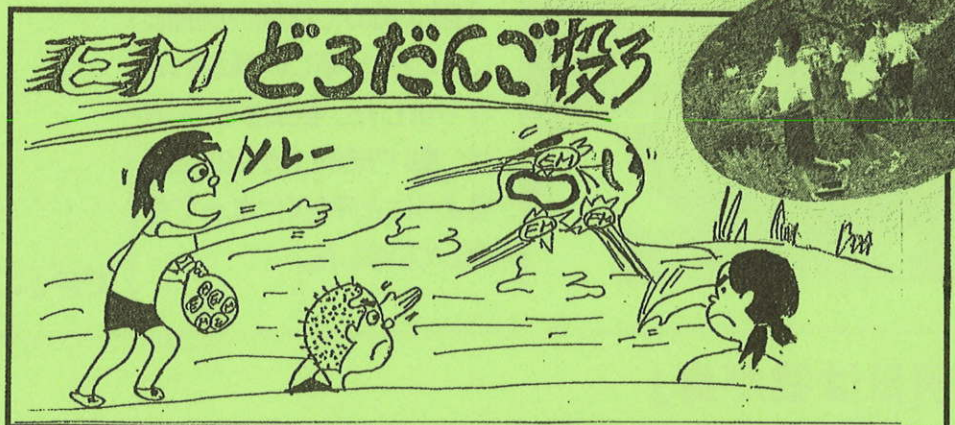
に投げこまれました。1ヶ月かけてつくられた泥だんごは、30分ほどでため池のあちこちに投げ込まれました。その後、池の上流部の北中丸橋から“EM発酵液”1,000リットルが注がれました。

EM泥だんごとは、EM活性液やEMポカシを土に練りこみだんご状の固形物にして発酵・乾燥させたもの。



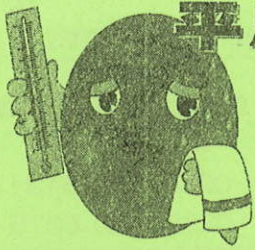
EMとは (Effective Microorganisms = 有用微生物群) の略です。

自然界に存在する微生物のなかで、こうじ菌・乳酸菌・酵母菌・光合成細菌など複数の役に立つ微生物を組み合わせたもので、環境浄化や農業などいろいろなことに役立ちます。



北中丸橋からEM発酵液を1,000リットル注いだ様子

平成 22 年度美しい郷づくり活動スタート



人・自然ともにきらめき、心豊かな美しい郷白鷹町を未来の子どもたちへ残していくため、新体制での2年間の活動をスタートしました。昨年見直しされた環境基本計画に基づき、ごみの減量やリサイクル、清らかな水環境の推進、環境教育、地球温暖化防止に向けたエコドライブ講習会、環境出前講座の開催など今年度もがんばります。伊野会長・松木副会長をはじめ19名の委員全員で楽しく活動していきますので、よろしくお願いいたします。

水環境部会

EMを使って町内のため池や学校のプールの水質浄化など

石川匡二 (鮎貝) 梅幸一久 (十王)
酒井良加 (鮎貝) 梅幸吉久 (新野)
中川みさ子 (豊桑)

省エネ・新エネルギー部会

省エネなどの環境出前講座、エコドライブ講習会の開催、廃食用油の回収事業

菅原庄市 (東根) 菅原あつ子 (東根)
熊坂勝則 (十王) 田勢一雄 (豊桑)
芳賀繁男 (荒砥) 横山直広 (荒砥)

ごみ・資源部会

ごみ減量のための出前講座の開催など

松木千鶴子 (鮎貝) 海老名文子 (十王) 新野孝一 (豊桑)
大真美智子 (新野)
山口伊都子 (新野)

広報部会

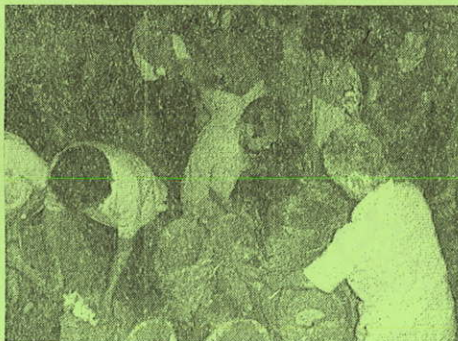
美しい郷へGO!! の発行

加藤仁美 (豊桑)
戸借清波 (中山)

～ごみゼロの日実行委員会主催～

EMほかしづくりにも多数参加!

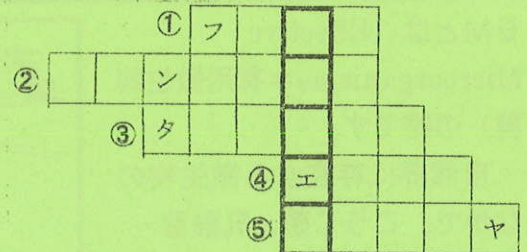
7月30日午後7時から中央公民館において、“EMほかし”と“米のとぎ汁発酵液”づくりが行なわれ、29名の方が参加されました。家庭から出る生ごみを減らし、手軽に生ごみ堆肥をつくれるということで講習会を



開催しており、今年で3年目。今回は初めて夜間の開催ということで、新しい顔ぶれとなりました。参加された方は、良い“ほかし”が出来上がるようにと汗だくになって作業していました。

環境クロスワード

- ①マイバックや0000を利用しましょう。
- ②地元で取れたものを地元で消費すること。
- ③屋根の上パネルでつくる000000発電は、CO2発生ゼロ!
- ④0000設定温度は28°Cにしましょう。
- ⑤寝苦しい000000には水枕がおすすめ。



できることからはじめよう“0000国0”

「明日は我が身」

今年の異常気象(異常気温)によって、熱中症や土砂災害等がグローバル世界的現象です。今後被害を減らすため、人間がCO₂を意識し、地球温暖化に影響する、ごみ削減、省エネルギー、エコドライブ、水浄化等地球を明るくやさしく美しくしよう。

美しい郷づくり推進会議 会長 伊野幸男

